

令和元年10月16日
オープンリーダー育成研修

佐世保市のオープンリーダー の取組み紹介

(近隣団体の取組み事例紹介)

佐世保市 総務部 情報政策課
(担当:主事 川崎)

1. オープンデータ取組状況(広域都市圏)



○広域での主な提供データ

- ・ 公共施設一覧
- ・ 避難所一覧
- ・ 医療機関一覧
- ・ 観光施設一覧
- ・ 地域資源等の写真

広域での提供データ数合計：913件
(佐世保市の提供データ数：780件)

2. 佐世保市のオープンデータ利用状況

(1) 佐世保市の提供データ

統計情報、地図情報、観光情報など

ファイル形式は、XLS、CSV、JPEG、Shapeなど

(2) 佐世保市のデータダウンロード数

889回（平成31年3月末～8月末まで）

(3) 佐世保市の人気データ

- ・佐世保バーガーマップ
- ・公共施設一覧
- ・交通量調査結果
- ・造船所や化石などの写真データ

※CSVやJPEG形式のデータのダウンロードが多い

The screenshot displays the SASEBO OPEN DATA website interface. At the top, there is a search bar with the text 'データセットを検索' and a magnifying glass icon. Below the search bar, the website's logo and name 'SASEBO OPEN DATA 佐世保市オープンデータサイト' are visible. A navigation menu includes links for 'データセット', 'カテゴリー', 'お知らせ', '活用事例', '利用規約', 'サイトについて', 'お問い合わせ', and 'オープンデータマップ'. The main content area is divided into several sections: '人気のカテゴリー' (Popular Categories) with icons for 'その他', '健康・福祉', '教育・文化・スポーツ・生活', '運輸・観光', '司法・安全・環境', '国土・気象', and '情報通信・科学技術'; 'お知らせ' (Notice) with a date '2019.03.29' and a message about the site's renewal; '新着データセット' (New Data Sets) listing recent uploads with dates and titles; '人気のデータセット' (Popular Data Sets) listing frequently downloaded datasets; and '関連リンク' (Related Links) featuring a map of the region and a link to the '西九州させば広域都市圏'.

3. オープンデータ公開までの主な取り組み

No.	時期	イベント	概要
0	平成25年6月	議会からの指摘 (きっかけ)	「ICT利活用による便利な市役所推進計画」に 推進を明記(平成27年度～平成31年度)
1	平成28年4月～ 平成29年3月	事前準備	<ul style="list-style-type: none">・関係各課へのデータの保有、提供可否の確認・基本方針策定・サイト構築・担当部署等への説明・サイトへのデータ登録
2	平成29年3月	佐世保市オープンデータ サイト公開	株式会社ドーンにてサイト構築（DKAN） オープンデータの提供開始
3	平成31年3月	オープンデータサイト移行	ISIT（公益財団法人九州先端科学技術研究所） が提供する「BODIK ODCS」を利用(無償)
4	令和元年8月	西九州させぼ広域都市圏 オープンデータポータル サイト公開	佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、 波佐見町、小値賀町、川棚町、新上五島町の9 市町で構成。 各市町のサイトへアクセス、及び広域都市圏内 のオープンデータの一括検索が可能。

4. オープンデータの活用事例

◆活用事例

- ケーブルテレビ事業者が「メールマガジンさせぼ」の情報をデータ放送に利用（行政情報や火災・防災に関する情報）

※メールマガジンさせぼの情報もオープンデータとしています。

- 長崎県すこやか長寿財団の情報誌に、写真データが掲載。

◆自治体側への効果

情報公開請求の多い情報のオープンデータ化

例）「食品等営業許可・届出一覧」の公開を担当部署にて検討中

5. 苦労した点・課題

(1) .関係課かいへの説明、データ提供依頼

Q.① そもそもオープンデータとは何か。

→ 営利非営利問わず誰もが自由に利用できるデータ。

Q.② ホームページで出しているデータと何が違うのか。

→ 自由に活用してよいデータとして公開しているかの違い。

Q.③ なんでしないといけないのか。

→ 国が推進しており、市としても主要な情報化事業である。

Q.④ 時間がない、人がいない

→ 極力、各課の作業負担を減らすような運用。

(2) .公開したデータがどのように利活用されているかわからない

→ オープンデータは自由に利用できる性質上、利活用事例の把握が困難なため、ダウンロード数等が指標となる。

6. 今後の取組み

(1) 提供データの定期的な更新

→RPAを活用したデータの自動更新等の検討。

(2) 提供データの充実

→推奨データセットを中心に先進自治体の公開事例等を参考に提供データを充実させる。

(3) 広域都市圏での取組み

→連携市町と協議を進め、データの充実や運用について検討を進める。

(4) データの活用促進

→データの活用促進のため、産学官連携した取組みなどの検討。

ご清聴ありがとうございました。